

前回の全校集会からさらに時間が進み、1学期は残すところ2週間となりました。

あと今日と終業式の2回、校長先生にはみなさんにお話する機会があるので、今日は、1学期を振り返るきっかけにしてほしい話、終業式は、夏休みと2学期の充実につなげてほしい話---と、方向を変えてお話をしたいと思います。

では、1学期を振り返るきっかけにしてほしい話です。

この全校集会では、その時々にはみなさんのようすを見て感じたこと、その時々にはみなさんのようすを見て伝えたいなと思ったことを話しているので、この1学期に校長先生が話した言葉をいくつか思い出してもらいながら、自分自身に当てはめて、1学期のすごし方を振り返ってみてほしいです。

その1からその4まで、4つ選んでみたので振り返ってみてください。

その1 = 「優しい人」 ---校長先生は、「みなさんが『優しい人』でいてほしいと常に願っています。」と話しました。「優しい人」は周りの人の気持ちを理解して思いやって行動できる人です。自分の気持ちばかり優先しない人です。

その2 = 「ちゃんと落ち着いた授業（態度）」 ---校長先生は、『『ちゃんと落ち着いた授業（態度）』が大切です。『ちゃんと落ち着いた授業（態度）』が増えたように思うけど、全部になってほしいです。』と話しました。しゃべったり・立ったり・大きな声を出したり・ずっと寝てたり、そんな授業態度で勉強がわかるはずもないです。

その3 = 「考えた言葉や行動」 ---校長先生は、『『自分のその場の感情まかせの言葉や行動』がなかなかありません。『臨時集会や別室指導が必要な言葉や行動』はもう潮時とちがうかな。』と話しました。

その4 = 「団体戦」 ---校長先生は、「学校での成長や成果は『団体戦』だと思います。成長や成果には努力が必要だけど、みんなで励ましあって努力しようという空気感（雰囲気）がないとがんばれません。」と話しました。

自分自身にあてはめてみてどうでしたか。4つともプラスで頑張れたという人もいるだろうし、4つともマイナスですごしてしまったという人もいるでしょう。校長先生の役割は当たり前ですがみなさんの校長先生なので、できるかぎりみなさんのことをプラスで頑張ってくれたと思いたい・評価したいと常に考えています。

だけど、この1学期全体でみると、ほんとうに残念ながら、プラスで頑張れたという人よりマイナスですごしてしまったという人のほうが目立ってしまう毎日だったんじゃないかなと正直思います。そして、プラスで頑張っている人が、きっと、ずいぶん和我慢してすごしてきたのだろうなと想像して心が痛みます。

やはり、学校というところは「団体戦」です。プラスで頑張る人の割合が増えればそれがあたりまえの空気感（雰囲気）になって、マイナスですごしていた人もプラスで頑張る人になっていく。逆もまた同じ。そういうものだと思います。ぜひ、1学期の振り返りをふまえて、2学期には「団体戦」をみんなでいい方向にもっていきたいです。